

工法名	写真・イメージ・図面	工法概要	個別No.
<p>鉄骨建方3次元計測管理 </p>		<p>鉄骨工事において、トータルステーションと反射シートを用い鉄骨の位置を3次元計測し、建て方データ整理を行うシステム。 本システムで使用するターゲットとして、反射シートのほかにプリズムが使用でき、ターゲットを使用しないノンプリズムでの計測も可能としており、計測した結果は、PC画面により確認できる。</p>	<p>2018-躯体 (S) -09</p>
<p>ベースプレート過大孔充填材 (親子フィラー) </p>		<p>鉄骨造柱脚のアンカーボルトとベースプレートアンカーホールのクリアランスを埋めることができる充填材(鋼製フィラー)。 親と子の2個のフィラーで構成されており、親フィラー、子フィラーの順に、アンカーボルトを介してベースプレート内に設置することで施工が完了する技術。</p>	<p>2018-躯体 (S) -10</p>
<p>タイトフレーム先付け工法 </p>		<p>屋上に取付ける鉄骨梁を地上またはスラブ上に並べ、タイトフレームを先付け溶接した後、揚重、セットしていく工法。 従来の方では高所での墨出し作業や溶接作業が必要だったが、これらの高所作業を削減、省人化を図る。 タイトフレームの取付位置は、鉄骨建方の施工誤差等を考慮し、精度よく取付ける必要がある。</p>	<p>2018-躯体 (S) -11</p>
<p>鉄骨エレクショ</p>		<p>ガス切断の技能者が確保できない場合でも、エレクションピース切断作業が可能</p>	<p>2018-躯体 (S) -12</p>